

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん
載っています

作成: NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可: 茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

記号の説明:

①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照

②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

蝶・蛾の幼虫観察の季節 (悦)

第3回目の月例観察会のルートは第一駐車場→沢沿いの小径→野鳥の小径→山頂コース裏道→(山頂)→山頂コース→第一駐車場としました。

気温が高いという予報だったので、比較的日陰が多く、観察しながらゆったり登れる、コースを選択しました。

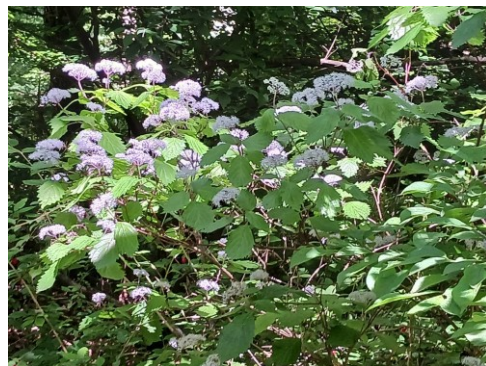
今回は、沢山の蝶、蛾の幼虫と出会うことができ、午後にはオオムラサキの丸々と太った終齢幼虫に、大感激でした。

終始、エゾハルゼミの鳴き声が響き、イチモンジチョウ、ウスバアゲハ、カラスアゲハなどが飛び交い、昆虫担当のスタッフが観察のための捕獲に大忙しでした。



梅雨時に咲く癒しの花 (洋)

●藪の中に日本固有種の、薄い青紫色のコアジサイの花が咲いていた。装飾花がなく小さな花が集まっている姿は愛らしい。受粉のための虫を誘引する、ほんのり甘い香りは爽やかだった。



●エゴノキ街道を歩き、道の両側にぶら下がるように咲く花をたくさんみることができた。咲き終えた花は花びらがバラバラに散らずにそっくり落ちる合弁花だと学んだ。

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会

☎: 0266-75-1772

WEB ガイドを拡張しました。

観察会で長年撮りためた写真を利用して、スマホでも利用できる WEB ガイドを拡張しました。

①植物ガイド

②昆虫ガイド

③植物・昆虫を観察しよう

①②は植物・昆虫の名前、観察月で検索できます。

③はガイドブック2の「観て楽しむ」の章を掲載しています。



再認識 (宇)

●ウスバアゲハ

ふわふわと飛びシロチョウの仲間だと思っていました。まじかで見せてもらったその羽は鱗粉の極めて少ない蝶々らしからぬステンドグラスのように透明感のあるもので、蝶の概念を変えてくれました。

●蝶の若齢幼虫は小鳥の糞に擬態している説

そうは思っていたのですが、最近の理科の教科書にも載っている位の説なのでしょうか。

●白髪太郎

まず、終齢幼虫の名前を知った後に成虫の名(クスサン)を知った思い出のイモムシです。

6月の観察会 余談その1 (矢)

フタリシズカ(二人静)に2本ではなく

4本の花序が！ えっ、その隣には5本の花序！！



6月観察した虫たち(馬)

- ウスバアゲハ♂①09
- カラスアゲハ♀
- カラスアゲハ同終齢幼虫
- モンキチョウ♂♀②110
- ヤマトシジミ②111
- アカシジミ②111
- イチモンジチョウ②114
- コムシジ②115
- ルリタテハ終齢幼虫②50
- オオムラサキ終齢幼虫②50
- クモガタヒョウモン②113
- ヤマキマダラヒカゲ②116
- ヒメウラナミジヤノメ②115
- アサギマダラ成虫・卵
- 若齢幼虫②117
- アゲハモドキ②120
- クスサン幼虫②51
- ヤママユ幼虫②119
- シロシタホタルガ幼虫②119
- エゾヨツメ幼虫②120
- シオヤトンボ♂♀②128
- カワトンボの仲間(無色型♀)
- エゾハルゼミ(鳴き声)②129
- ナミテントウ幼虫・蛹②125

6月観察した花 (悦)

- ★クサノオウ①73
- ★サワギク①87
- ★ニガナ①87
- ★ジシバリ①70
- ★ミヤコグサ①82
- ★キハダ①102
- ★ネコノメソウ①73
- ★ナツハゼ②81
- ★ヤマウコギ①85
- ★シロツメクサ②78
- ★イボタノキ②80
- ★ガマズミ①83
- ★エゴノキ①84
- ★ゲンノショウコ①100
- ★サルナシ
- ★フタリシズカ①83
- ★ムラサキサギゴケ①75
- ★コウリンタンポポ①87
- ★レンゲツツジ①78
- ★クリノソウ①79
- ★ナワシロイチゴ①86
- ★ムラサキサギゴケ①75
- ★コアジサイ①89

真夏並みの暑さの中で (黒)

まだ夏ではない、梅雨の最中というのに、真夏並みの暑さ。虫たちはこんなにも暑いのに、元気に卵を産み、孵化し、成虫へと変身、成長の時を生きているんだと改めて感じました。

●アサギマダラの卵、幼虫を見つけました。既に、あの独特の色合いが幼虫の体に表れているのは、不思議を通り過ぎて感動。



オオムラサキの巨大(と言えるほど)な幼虫を見つけた時は、みんなで思わず声を上げたほどでした。(写真ピンボケでだめでした)。

●エゴの可憐な花が散って花びらのじゅうたん。踏んで歩くのが悪いような華やかさ。華やかさとは無縁のカヤツリグサですが、愛らしく粒粒を付けた姿はまた捨てがたいものです。



●ミヤマウグイスカグラの収穫。

皆さんに手伝ってもらい沢山とれました。帰って、早速ジャムに。ちょっと硬くなりすぎたようですが、次回の観察会で皆さんに試食をお願いします。



見るもの沢山の楽しい一日でした。

6月の森は賑やか (森)

森に入ると、エゾハルゼミの鳴き声と鳥の声が聞こえ、6月の森は賑やかだ。小道を行くと始めに出会ったのは、白いウツギの花。下を向いて、恥ずかしそうな可愛い花。川沿いには、サワギク、ガマズミ。



道に、パーっとひろがったエゴの木の花、上を見ると緑の木々の中に白い花が咲いていた。アサギマダラの卵がみられたのは、ラッキー！

ウスバシロチョウもみることができた。羽が、羽衣のように透明なのは白い澱粉がないせいとか。山頂からの帰り道崖から、垂れ下がるようにスイカズラの花が咲いていた。とてもいい香りがした。まだまだ、名前を覚えるだけで精一杯だけど、とても充実した観察会でした。なんか大人っぽい



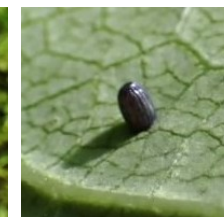
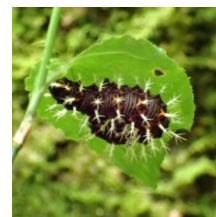
イモムシは元気いっぱい (邦)
梅雨の合間のこの時期は、イモムシ(幼虫)にたくさん出会いました。幼虫という名であるものの「一生の中では一番元気な青年期かなあ」「蝶や蛾として飛ぶのは最期のほんの一瞬だなあ」とそんなことを思いながら、そして「ルリタテハ」「カラスアゲハ」や「ヤママユガ」の成虫を想像しながらの観察会でした。

午後のトピック
オオムラサキ
終齢幼虫



嬉しい初見ばかり (桂)

今回は、虫好きの私にとって嬉しい初見ばかりでした。春先から飛ぶ綺麗なルリタテハの幼虫を以前から見たいと思っていました。そして何より念願のアサギマダラの卵も見られました。



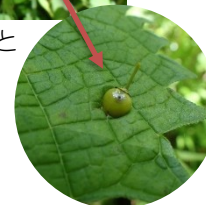
コクサギの葉にいたカラスアゲハの幼虫、コナラにいたヤママユの幼虫、綺麗なイトトンボなど多くの出会いがありました。今まで寒くて急に真夏になった一日でしたが、森では多くの虫たちが遅く生きているのを感じることが出来ました。



6月の観察会 余談その2 (矢) アカソの葉に虫こぶ！



初観察と近づくともズミの実が落ち食い込んでいました！！



出会い (口)

●6/12 の下見で見つけたミドリヒョウモンの幼虫が観察会の時に同じ所で蛹になっていました。無事羽化しますように。



●シマヘビに出くわす

何よりも苦手な物の一つはヘビ。それなのに今年になって市民の森で3回も目の前を横切る。そこでシマヘビについてインターネット検索した。

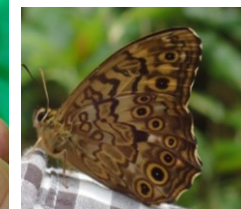
○木に登らない
○長いもので150cm位とあるが嫌いな私には200cm位に思えた
○寿命は8年から10年
○4月から6月は交尾の時期で移動する
○威嚇で尻尾を振って音を出す(この音も聞いた)等々

巳年だからといってそんな心遣いはいらない～

●ヤマキマダラヒカゲ夏型(色が明るくなる)に？あまりにも暑くなったのでヤマキマダラヒカゲの夏型か、同定する(馬)さんを悩ませていました。



2025.6.17



2021.8.10



ナフシロイチゴ



コウリタンポポ



ミヤコグサ